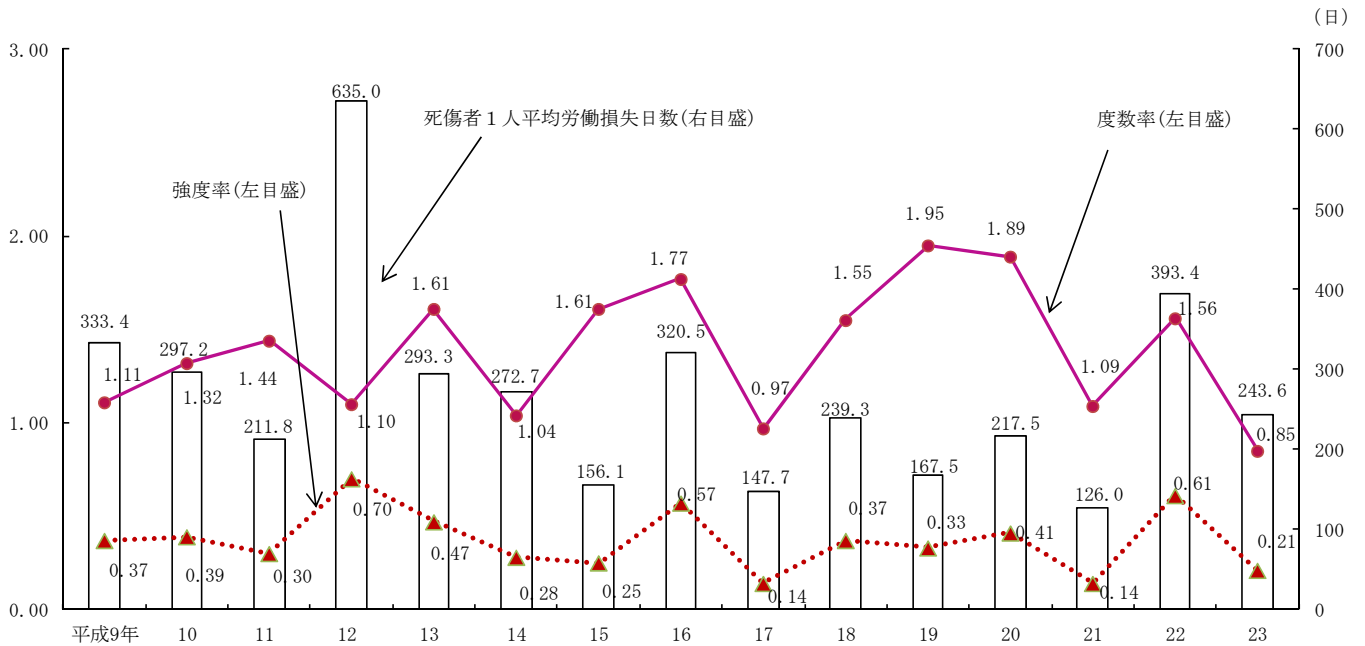


2 総合工事業調査における労働災害の状況

平成23年の労働災害の状況を総合工事業(工事現場)でみると、度数率が0.85(前年1.56)、強度率が0.21(同0.61)となり、死傷者1人平均労働損失日数が243.6日(同393.4日)となっている。前年と比べ、度数率が0.71ポイント減少、強度率が0.40ポイント減少、死傷者1人平均労働損失日数が149.8日減少している。(第3図、第3表)

工事の種類別にみると、土木工事業の度数率が1.84(同1.19)、強度率が0.60(同0.13)、建築事業の度数率が0.74(同1.67)、強度率が0.16(同0.76)となっている(第3表)。

第3図 労働災害率及び死傷者1人平均労働損失日数の推移(総合工事業)



第3表 労働不能程度別労働災害率及び死傷者1人平均労働損失日数(総合工事業)

区分	度 数 率								強度率	死傷者1人平均労働損失日数(日)
	計	死 亡	永久全労働不能	永久一部労働不能	一時労働不能					
					計	休 業 8日以上	休 業 4~7日	休 業 1~3日		
D06 総合工事業	0.85 (1.56)	0.02 (0.08)	0.00 (0)	0.02 (0.04)	0.81 (1.44)	0.41 (0.68)	0.04 (0.10)	0.36 (0.66)	0.21 (0.61)	243.6 (393.4)
(工事の種類)										
067 土木工事業	1.84 (1.19)	0.05	0	0.07 (0.04)	1.72	1.02	0.05	0.65	0.60 (0.13)	328.3 (105.4)
068 建築事業	0.74 (1.67)	0.02	0.00	0.01	0.71	0.35	0.04	0.33	0.16 (0.76)	220.2 (455.7)
(請負金額)										
10億円以上	0.71	0.01	0	0.02	0.68	0.34	0.03	0.30	0.12	168.1
5億円以上10億円未満	1.27	0.04	0.02	0.01	1.19	0.58	0.08	0.53	0.57	453.9
5億円未満	1.07	0.03	0	0.01	1.03	0.55	0.04	0.43	0.24	227.1

注：()内は前年(平成22年)の数値である。